

STプロジェクトについて

コロナ(感染症)時代の旅行の課題

2020.11.19

JTREC 田中

■ST(持続可能な旅行)プロジェクト

2021年夏の再開に向け、リーダーからの
具体的依頼に速やかに対応できるよう、
事前調査、準備を行う

- 例)
- ・SDG17の内容の理解を深める
 - ・他機関(GSTC、ユネスコ、エコツアーリズム協会等)の示すガイドライン等を、調査勉強しておく
 - ・コロナ時代で状況激変した旅行現場の実情

■コロナ時代の旅行の課題への取組み

今後コロナ時代の旅行に求められる
情報面(提供・流通)の課題、その取組み
方法を検討する

例) ・旅行先の安全度(保健衛生上)

を表現・流通する情報の標準化

・旅行者の安全度(保健衛生上)

を表現・流通する情報の標準化

・旅行の計画に必要な各種情報

を表現・流通する情報の標準化

以下、

思いつき案の一例

旅行者の欲求

来月に1週間の休暇が取れた。

ビーチリゾートでノンビリしたい。

今、どこへなら、旅行に行けるか ？



★旅行者のみならず、旅行業者、
ビジネス旅行者にとっても大きな関心

旅行者の関心

フェーズ	項目	例
往路	移動手段の確保	飛行機は飛んでる？
	出国・入国	健康診断・証明書、PCR検査書等が必要か？ 隔離（2週間等）されないか？
目的地で	感染症対策の程度	感染症対策の程度は 移動時。観光時、宿泊時、食事時、、、
	医療レベル	現地の医療機関は信頼できるか？
	行動上の制約	マスクが必須か？
	目的地の Availability	***美術館は開館しているか？入場制限は？
	現地の受容性	現地の人々は旅行者を歓迎するか？
	ヒストグラム	
帰路	移動手段の確保	飛行機は飛んでる？
	帰国入国	健康診断・証明書、PCR検査書等が必要か？ 隔離（2週間等）されないか？

★上記のような情報がOD（発着）別に欲しい

★旅行者のみならず、旅行業者、ビジネス旅行者にも必要な情報

情報面の課題

これら情報は散発的に色々なサイトから発信されているが

- ・ わかりにくい（ユーザーインターフェース）
- ・ 各国ばらばら、統一的でない
- ・ タイムリーでない
- ・ 正確性の保証は？公的に約束されるか？
- ・ 多国語対応か？
- ・ 共通化・共有化を実現できなくては

⇒ 「国際的に」統一的、標準（ガイドライン）
準拠の情報発信が望まれる？

直近ニーズとして、日本へのインバウンド旅行に
関する情報の整理・体系化・標準化が重要か



国・地域別

目的別

ホーム

海外安全情報

海外旅行

海外出張／ビジネス

海外留学／海外修学旅行

海外生活

ホーム > 新型コロナウイルスに係る日本からの渡航者・日本人に対する各国・地域の入国制限措置及び入国後の行動制限

新型コロナウイルスに係る日本からの渡航者・日本人に対する各国・地域の入国制限措置及び入国後の行動制限

令和2年8月28日（午前6時更新）
外務省

- 8月28日午前6時までには外務省が把握している、日本からの渡航者・日本人に対する各国・地域の入国制限措置及び入国後の行動制限措置については以下1及び2のとおりです。
- 本情報は、当局が公式に発表した情報を中心に掲載していますが、新型コロナウイルスをめぐる各国の対応策は流動的ですので、本情報の内容から更に変更されている可能性もあります。これらの国への渡航を検討される際には、各国当局のホームページを参照するほか、在京大使館に確認するなど、最新の情報を十分に確認してください。
- 入国制限措置に記載されていない場合であっても、無症状であること、陰性証明書の携行、各国当局のウェブサイトへの事前の登録等が入国の条件となっている場合があります。必ず現地の日本国大使館・領事館や各国当局のホームページを参照するほか、在京大使館に確認するなど、最新の情報を十分に確認してください。
- 入国制限及び行動制限措置に記載されていない場合であっても、日本人が日本以外の国から別の国に渡航する場合（トランジットを含む。）に、渡航先の国が日本人の入国に制限を課すケースがあります。現地の日本国大使館・領事館や各国当局のホームページを参照してください。
- 外務省海外安全情報配信サービス（たびしず）においては、現地の日本国大使館・領事館から、随時安全情報がメールで配信されますので、必要か